

(令和5年度当初) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 高知県 (都道府県: 高知県)
本事業の担当部局名 子ども・福祉政策部 子育て支援課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業		
区分	一般メニュー		
関連事業メニュー	1.1_2 結婚希望者の出会いの機会づくりを目的としたイベント・スキルアップセミナー		
個別事業名	高知県enカレッジ2023事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度 令和元 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	878,020 円		
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け) <地域における実情と課題> 本県の合計特殊出生率は、平成29年は前年を0.09ポイント上回る1.56であったが、その後下降に転じ、令和3年においては1.45と前年より0.02ポイント上昇。出生数は過去最少となった前年から8人増の4,090人と横ばいの状況だったが、婚姻件数については、対前年△108組の2,332組で戦後最少となった。これまでの取り組みにより本県の合計特殊出生率は平成21年の1.29を底に回復基調にあるが、目標としている令和32(2050)年の合計特殊出生率2.27の達成に向けて出生率を高めていく必要がある。</p> <p>また、令和4年度に実施した県民意識調査によると、「高知県が安心して『結婚』『妊娠・出産』『子育て』できるような社会になっていると考える人の割合」について、ライフステージの各段階別で分析すると、「子育て中の方」の27.4%に対し、「子どもがいない方」は19.9%と、7.5ポイント低く、様々な支援サービスを知らないことなどが漠然とした不安感につながっていると推測されるため、特に、子育て前の若い世代の「不安感の解消」が重要である。</p> <p>さらに、同県民調査では、理想とする子どもの数(2.20人)と予定する子どもの数(1.85人)に乖離があり、その理由として、経済的な問題の次に仕事と家庭の両立の困難さがあるためと考えられ、仕事と育児の両立ができる環境づくりの取組を推進していくことも重要である。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本県においては、少子化対策を県の5つの基本政策に横断的に関わる政策の1つとして位置づけ、「第2期高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「総合戦略」)において、「『結婚』『妊娠・出産』『子育て』の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する」ことを基本目標の一つとし、「Ⅰライフステージの各段階に応じた少子化対策」「Ⅱ官民協働による少子化対策を県民運動として展開」「Ⅲ女性の活躍の場の拡大」を基本的方向として構成して取り組んでいるところである。</p> <p>総合戦略の基本的方向「Ⅰライフステージの各段階に応じた少子化対策」の具体的施策として、 (1) 出会いの機会の創出 (2) 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり (3) 安心して子育てできる環境づくり～働きながら子育てしやすい環境づくり～ の取り組みを行っており、本個別事業は上記(1)のための施策の一つとして実施するものである。</p> <p>(本個別事業における現状と課題) 高知で恋しよ!!マッチングは平成28年4月から本格的に運用を始め、累計登録者数は2,400人以上(R4.12月末現在)となっている。このマッチング会員登録時アンケート結果では、「会員登録後のサポートが必要」と答えた方が約8割であり、そのうち「今後利用したいサポート」として最も回答が多かったもの(約50%)が「出会いイベント」であることから、令和元年度より会員同士の交流を目的としたイベントやスキルアップセミナー付きのイベントを開催してきたところである。(令和元年度:5回、令和2年度:8回、令和3年度10回)</p> <p>一方で、これまで実施してきたイベントは単発での実施であったため、セミナーで得られた成果を発揮できる機会がすぐれない場合が多く、独身者本人の婚活に対するモチベーションの継続や行動変容への意識が途切れてしまう懸念があったため、令和3年度からenカレッジとして男女別セミナー各2回と男女合同セミナー付き交流会(1回)及び交流会(1回)を実施しているところである。</p> <p>これまでは、男性向けに主に自己啓発セミナー、女性向けにヘアメイクセミナー、合同ではコミュニケーションやマナーレッスンなど実施してきたが、新たに自分磨きや生活力の向上ができるようなメニューを考案し、より広く婚活に役立つスキルアップを目指す。</p> <p>(課題への対応) 令和5年度も引き続き実施することとし、多方向からのさらなるスキルアップの向上のため、これまで実施してきたセミナー内容と合わせ、家事スキルの向上や、健康的な体づくりを取り入れたエクササイズ等、自分磨きや生活力の向上ができるセミナーを組み入れ、幅広い会員の興味に沿った内容を実施する。</p>		

個別事業の内容	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	enカレッジの開催	<p>独身者の内面へのアプローチ(マナーやコミュニケーション力、料理、家事など)と外面へのアプローチ(パーソナルカラーや骨格診断、ヘアメイク、エクササイズなど)を行うセミナーと交流会を実施し、身につけたスキルをそのままにせず、実践に移す場を設ける。(全11回開催、参加定員男女各12名)</p> <p>実施イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチング、イベント会員を対象として実施 ・男女別セミナー(6回開催予定、各12名)、及び混合セミナー(3回開催予定、各24名) ・セミナー付き交流会(2回開催(中間時及び修了時)、各24名) <p>※セミナーのうち4回に、自分磨きや生活力の向上ができるようなメニューを取り入れる。</p>	○	○
※(注)3	<p>【次年度以降に向けた事業の方向性】</p> <p>当年度に実施した結果や参加者アンケートを踏まえ、必要に応じてブラッシュアップを行いながら、次年度以降も継続して取組を進める。</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】</p>				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目		単位	目標値	現状値
	合計特殊出生率(R6)			1.70	1.45 (R3)
	安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できる社会になっていると考える人の割合(R6)			50	22.0 (R4)
	理想的な子どもの数、現実的に持たたい子どもの数(R6)			理想と現実の数を上昇、理想と現実数の差を縮小	理想の数2.20人 (R4) 現実の数1.85人 (R4)
	平均初婚年齢(夫・妻)(R6)			年齢低下	夫：30.8歳 (R3) 妻：29.6歳 (R3)
参考指標 ※(注)5	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.45 (R3)	
	婚姻件数		件	2,332 (R3)	
	婚姻率			3.4 (R3)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	参加者数(延べ人数)(定員190人)		人	154	88 (R4.12)
	募集定員数に対する参加者数の割合		%	80	83 (R4.12)
	セミナーを受けた参加者の満足度		%	90	98.6 (R4)
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	<p>本事業は、県主導で事業を展開するが、市町村においては、本事業の周知及び広報PRに協力いただく。</p>				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	<p>本事業は、県主導で事業を展開するが、個別相談において、県内の結婚相談所等のノウハウを借りることで、結婚を希望する独身者への支援にご協力いただく。</p>				